

経営比較分析表（令和6年度決算）

岡山県美作市 美作市立大原病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	7	-	ド訓	教へ
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
24,886	6,642	第1種該当	-	10:1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
40	40	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	80
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
40	40	80

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
[]	令和6年度全国平均

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 （従来の専従・ネットワーク化を含む）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

当院は岡山県北東部を医療圏とし、大原地域に立地している2次救急を担う基幹的医療機関である。
住民へ安心で安全な医療提供を行うため、救急告示病院として24時間患者の受入れを実施し、専門高度な治療が必要ときには速やかに高次医療機関と連携し対応している。また、急性期治療後の回復期のフォローも担うとともに、在宅での療養を支援するため、訪問診療・看護にも積極的に取り組んでいる。
さらに、将来的な医療人材の確保・育成にも力を入れ、看護実習生及び臨床研修医等を受け入れるなど、地域医療サービスの提供主体としての役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率はここ数年100%を超えており、黒字経営が出来る。これは、医療スタッフの不断の経営努力によるものであるが、一般会計からの繰入金も重要なものとなっている。
病床利用率は平均値よりは高いものの、入院患者1人当たりの収益は平均値より低くなっており、単価の引き上げの実施は難しいため、病床利用率の維持、向上に努める必要がある。

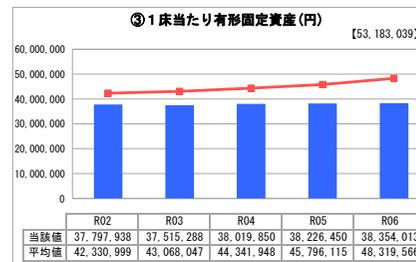
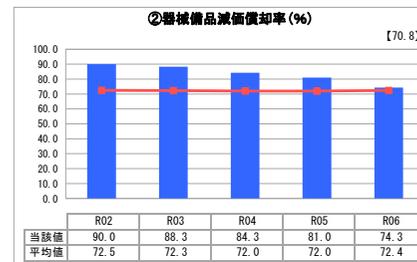
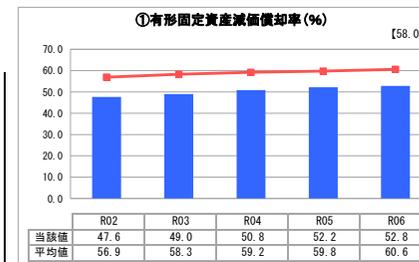
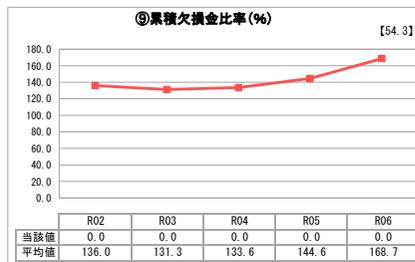
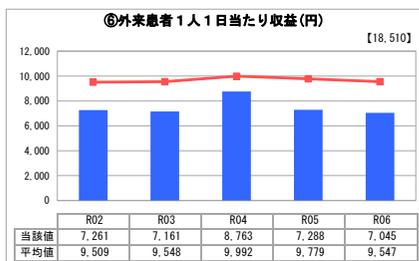
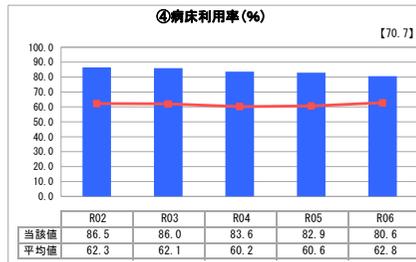
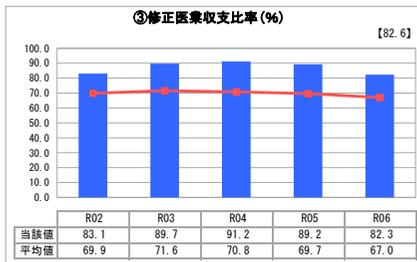
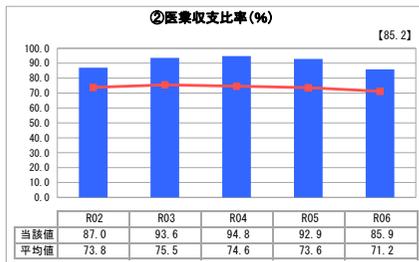
2. 老朽化の状況について

当院は平成17年に建設し20年が経過している。そのため、施設、設備においては、近年、経年変化等による不具合、故障などがみられ、長寿命化を図るための改修等を行っている。
また、医療等機器においても、必要度、老朽化度の高いものから随時更新を行っている状況である。

全体総括

現在、医療を取り巻く環境が厳しく、当院の経営環境も厳しく、特に人口減少による患者数の減少が続き、医療収益も年々減少している。そのため、地域住民のニーズに適した医療提供に一層取り組むなど、収入の確保に努める必要がある。
また、人件費及び物価高騰等により必要経費が増加している中、職員配置の適正化、材料・医薬品等の効率的な調達や管理により経費節減に取り組む必要がある。
さらに、設備や機器等の整備は、その必要性、役割や機能の最適化等、十分に検討し計画的に実施していくこととする。
上記を踏まえ、引き続き、24時間患者の受入れ体制に努めながら、地域住民へ安心で安全な医療の提供ができるよう安定的な経営を目指し、地域医療サービス提供主体としての役割を果たすよう努めていく。

1. 経営の健全性・効率性



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。